

故郷を守るために



▲所有するくるみ農場で修学旅行生たちにいもの掘り方を指導する

NPO法人 ふらの樹海の里 ネットワーク

未 来を担う子どもたち
に「誇れる故郷をつくっ
ていきたい」という強い思
いを胸に、東山地域を拠点
として活動しているNPO
法人ふらの樹海の里ネット
ワーク（萩原秀行理事長）。
地域のPTA役員経験者や
農業者など10人で組織され、
修学旅行生の農業体験支援
活動をはじめ、東山地域の
活性化を目的とした、さま
ざまな取り組みを展開して

います。
樹海中学校の校長をして
いた藤澤康次さんを中心
に立ち上げられた樹海の里も
設立してから今年で3年目。
過去には「わが村は美し
くー北海道」運動コンク
ールで奨励賞を受賞するなど、
地域以外でも活動が評価さ
れています。活動拠点とな
る事務所（どんぐり舎）は
地域の空き民家を利用して
いる、今年は地域の人の
コミュニケーション作りの
ため、「ピヤ・モール」を夏
と秋に開催。萩原理事長は
「活動のインパクトは小さ
いですが、地域で何か波を
起こしたいという気持ち
があります。子どもたちに自
慢できる樹海の里を残した
い。故郷がなくならないよ
う、子どもたちに私たちの
活動を見せていきたい」と
話します。

また、地域の農産物を利
用してパンやうどん、カ
レーライスを試作した、食
を活かした取り組みや、樹
海の里が所有する「くるみ
農場」で収穫した規格外の
スイートコーンを北の峯学
園や寿光園などの施設に寄
付するなど、地域以外にも
活躍の場を広げています。

▼手作りのうどんを試作



▲会員の農地で修学旅行生を受け入れ

「会員も自分の仕事をし
ながら活動しているので、
できることも限られてしま
いますが、今後は地域おこ
し協力隊を派遣してもら
うなどして、徐々に活動の幅
を広げていきたい」と話す
藤澤さん。

「定住してもらえないよう
な仕掛けをしていきたいし、
将来は東山に泊まりながら
農作業をしたりできる更生
施設のようなこともでき
たらと考えています。一つ
の団体だけではできないこ
ともあるので、地域住民や他
の団体と協力しながら、い
つ来ても昔と変わらない樹
海の里を作っていきたい」と
話しています。